

あま市スポーツ推進計画の体系

体系検討の要素				あま市スポーツ推進計画の体系（案）					
国の方針	県の方針	市の方針	課題及び方向性	基本理念	基本施策（案）	施策（案）			
<p><b>【第3期スポーツ基本計画】</b> 令和4年3月25日</p> <p>第1部 第2章 中長期的なスポーツ政策の基本方針 ① スポーツで「人生」が変わる ② スポーツで「社会」を変える ③ スポーツで「世界」とつながる ④ スポーツで「未来」を創る</p> <p>新たな3つの視点 ① 社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを「つくる／はぐくむ」という視点 ② 様々な立場・背景・特性を有した人・組織が「あつまり」、「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点 ③ 性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点</p> <p>第2部 第1章 東京大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に向けて、特に重点的に取り組むべき施策 (1) 東京大会の成果を一過性のものとし、持続可能な国際競技力の向上 (2) 安全・安心に大規模大会を開催できる運営ノウハウの継承 (3) 東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の促進 (4) 東京大会で高まった地域住民等のスポーツへの関心をいかに地方創生、まちづくり (5) 東京大会に向けて培われた官民ネットワーク等を活用したスポーツを通じた国際交流・協力 (6) 東京大会の開催時に生じたスポーツに関わる者の心身の安全・安心確保に関する課題を踏まえた取組の実施</p> <p>第2章 「新たな3つの視点」を支える具体的な施策 1. スポーツを「つくる／はぐくむ」 (1) 多様な主体が参画できるスポーツの機会創出 (2) 自主性・自律性を養う指導ができるスポーツ指導者の育成 (3) スポーツ界におけるDXの導入 2. 「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる (1) スポーツを通じた共生社会の実現 (2) スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力を通じた我が国のスポーツ体制の強化 (3) スポーツを通じた国際交流・協力 3. スポーツに「誰もがアクセス」できる (1) 地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供 (2) アスリート育成パスウェイの構築及びスポーツ医・科学、情報等による支援の充実 (3) 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがないような継続的なアクセスの確保</p> <p>第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策 (1) 多様な主体におけるスポーツの機会創出 (2) スポーツ界におけるDXの推進 (3) 国際競技力の向上 (4) スポーツの国際交流・協力 (5) スポーツによる健康増進 (6) スポーツの成長産業化 (7) スポーツによる地方創生、まちづくり (8) スポーツを通じた共生社会の実現 (9) 担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化 (10) スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」 (11) スポーツを実施する者の安全・安心の確保 (12) スポーツ・インテグリティの確保</p>	<p><b>愛知県スポーツ推進計画「いきいきあいちスポーツプラン」(改訂版)</b> 平成30年3月</p> <p>ア 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 (ア) 幼児期からの運動習慣の確立 (イ) 学校と地域における子どもの体力向上への取組 (ウ) 学校における体育に関する活動の充実 (エ) 持続可能な運動部活動の推進 (オ) 安全指導・安全教育の充実</p> <p>イ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 (ア) 若者をはじめとした成人のスポーツ参加機会の拡充 (イ) 高齢者の体力づくり支援 (ウ) 障害者のスポーツ活動の推進 (エ) スポーツにおける安全の確保</p> <p>ウ 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 (ア) 総合型クラブの育成支援 (イ) 子どものスポーツ環境の充実に向けた総合型クラブと学校との連携 (ウ) 地域のスポーツ指導者・クラブマネージャー等の養成及び活用促進 (エ) 地域スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用促進 (オ) 地域スポーツと企業・大学等との連携・協働</p> <p>エ 競技力向上を目指す取組の推進 (ア) ジュニア選手の発掘・育成・強化 (イ) トップアスリート（チーム）の強化・連携・活用 (ウ) スポーツ指導者及び審判員等の養成 (エ) 障害者スポーツの競技力向上 (オ) スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上 (カ) 国際競技大会等の開催等 (キ) スポーツ行政の今後の在り方について</p> <p>オ 次期愛知県スポーツ推進計画の策定 2013年3月に策定した現行の地方スポーツ推進計画（「いきいきあいちスポーツプラン」）の計画期間が2023年3月に終了するため、国の第3期スポーツ基本計画（2022年3月策定、計画期間：2022年度～2026年度）を参酌し、今後の本県のスポーツ振興に向けた新たな計画を策定中。</p>	<p><b>第2次あま市総合計画</b> 令和4年3月</p> <p>将来像 ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち「あま」 基本理念 ○地域の力を結集する共創のまちづくり【共創】 ○持続可能な魅力・活力あるまちづくり【持続可能】 ○次代につなぐまちづくり【次代へ】 基本目標Ⅲ 心身ともに健康に暮らせるまち 施策3 いきいきと学び続けられる環境が整ったまちをつくります ・市民が、生涯にわたり学習やスポーツ活動に取り組むことができるよう、活動拠点の整備・充実、多様な学習機会の確保などを図り、心身ともに健康で活力あふれる市民生活を支援します。</p> <p><b>第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略</b> 令和3年3月</p> <p>基本目標2 あま市への人の流れとつながりをつくる (ア) 市の魅力の発信と知名度の向上 ○スポーツ大会の会場等招致事業 ・市の施設を利用して、全国大会、プロスポーツの会場及び国際大会の練習場として招致を行い、スポーツ振興や地域活性化を図ります。 基本目標4 健康で安心に暮らせる、時代に合った魅力的なまちをつくる (イ) 生きがい・活力を高めるまちづくり ○スポーツ推進計画策定・推進事業【新規】 ・スポーツ推進計画を策定し、市内のスポーツ活動団体、組織、学校がスポーツで連携できる仕組みを構築し、市民のスポーツ活動を推進します。</p> <p><b>第1次あま市生涯学習推進計画</b> 令和4年3月</p> <p>基本理念 学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって 一豊かな地域社会を目指してー 「学び」の指針 「継続」の展開 (2) 整備 ・各施設が、市民のニーズに合った利用環境になっているかを確認し、そのうえで有効的・効果的に利用できるよう整えます ・本市の生涯学習課、学校教育課及びスポーツ課の所管施設や人材を活用し、相互に協力した事業を実施し、市民の学びを高められるよう環境整備に努めます。</p> <p><b>あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画</b> 令和3年3月</p> <p>基本理念 誰もが健やかに安心して いきいきと暮らせるまちづくり 基本目標5 高齢者の社会参加と生きがい活動への支援 5-4 スポーツ・レクリエーション活動の推進 ○地域スポーツ活動の推進と指導者・ボランティアの養成 ○楽しいスポーツの啓発</p> <p><b>第2期あま市子ども・子育て支援事業計画</b> 令和2年3月</p> <p>基本理念 安心が広がり 心豊かで思いやりに満ち 子どもの笑顔の花咲くまち あま 基本目標3 地域におけるすべての子どもの育ちを支えます 基本施策(1) 地域で子どもが安心できる居場所づくりの推進 ○放課後子ども教室事業 ○小・中学校開放の推進</p> <p><b>第2次あま市障がい者計画</b> 平成30年3月</p> <p>基本理念 障がいのある人もない人も、お互いに尊重し、支えあう共生社会の実現 2 生活支援と地域共生の基盤づくり (5) 社会参加への支援 ○社会参加への支援の充実</p>	<p>(1) 市民のスポーツ活動について ① 健康づくりやスポーツ実施に対する関心の高まりを維持する取組が必要 ・健康づくりや運動不足の意識、スポーツへの関心、スポーツ実施率を向上させることが必要 ② 性別や年代の特徴を踏まえてスポーツの実施を促す取組が必要 ・働く世代・子育て世代に、忙しい中でも、子どもがいても、気軽に安心してスポーツに取り組める場や機会の提供が重要 ・スポーツは、介護予防や医療費削減に寄与する活動として認められるため、今後もスポーツを実施・継続できる働きかけが必要 ③ 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しめる環境づくりが必要 ・障がい者スポーツの機運を維持しつつ、障がいの有無に関わらず、身近な地域で気軽に運動やスポーツに親しむことができる環境づくりが必要 ④ 子どものスポーツを好きな意識を育み体力向上につながる取組が必要 ・子どもたちが気軽にスポーツや運動ができる機会を増やす取組が必要 (2) 本市のスポーツ環境について ① スポーツ実施の場の確保に向けた施設の整備・充実 ・市内屋内スポーツ施設である七宝・基目寺総合体育館も30年以上が経過するなど、老朽化が進んでいる施設もある ・幼児から高齢者までが気軽にスポーツが実施できる場の確保に向けた、施設の整備・充実を図ることが必要 ② スポーツの現場を担う指導者の育成が必要 ・スポーツに親しむ場を多く提供するためには、指導者の育成が欠かせない ・ハラスメントや差別のない環境に向けて、スポーツ団体のガバナンス強化などにも取り組むことが必要 ・地域のスポーツ指導者が、指導を行う上で必要となる知識や、ライフステージに応じた指導方法を習得するための講習会等を開催するなどし、リーダーの育成に取り組むことが必要 ③ スポーツボランティアの発掘・育成が必要 ・スポーツの一層の振興、さらに地域の活性化につながる大規模なスポーツ大会の開催が可能となるよう、新たにスポーツをささえるボランティアの発掘・育成に取り組むことが必要 ④ スポーツ関係団体、企業との連携・協働が必要 ・本市のスポーツ施策を推進するため、またスポーツ教室やイベントの開催などを通して、一人でも多くの市民がスポーツに触れる機会が創出できるよう、スポーツ関係団体、企業等と連携・協働することが必要 ⑤ スポーツ大会等を活かしたまちづくりが必要 ・オリンピック選手を輩出した実績など、本市にあるスポーツにかかわる財産を活用する、パブリックビューイングや大会・イベントを開催することなどで、スポーツを通じてのまちのにぎわいづくりに関する取組が必要</p>	<p><b>(案) スポーツで元氣と笑顔があふれるまち あま</b></p>	<p>1 スポーツ機会の創出、スポーツによる健康増進</p> <p>①健康づくりに気軽に取り組む機会の充実 ②働く世代や親と子が楽しむスポーツの充実 ③子どもがスポーツを楽しむ機会・場の充実 ④高齢者向けスポーツ、健康づくり活動の推進 ⑤競技力・意欲向上につながるスポーツイベント等の充実</p>	<p>2 スポーツによるまちづくり</p> <p>①スポーツを通じたまちのにぎわいとコミュニティづくり ②スポーツ指導者の養成・活用 ③スポーツボランティアの育成 ④総合型地域スポーツクラブの活動強化にかかる支援 ⑤スポーツ関係団体との連携・協働の推進</p>	<p>3 スポーツを通じた共生社会の実現</p> <p>①インクルーシブスポーツ等の推進</p>	<p>4 利用しやすい施設・情報環境の整備</p> <p>①スポーツ施設の整備・有効活用 ②学校体育施設を活用した地域スポーツの場の確保と支援 ③わかりやすいスポーツ情報の提供</p>	<p>5 スポーツ好きなあまっ子を育む</p> <p>①スポーツとの出会いの場の充実 ②学校との連携によるスポーツ活動の支援・充実 ③競技スポーツとのふれあい</p>